

J R 北海道の重大トラブル等と道の対応

(平成 25 年 1 2 月 1 9 日現在)

年月日	トラブルの概要・J R 北海道への道の対応
H25. 4. 8	<p>○特急列車の床下から出火（函館行き北斗）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン付近の消音器の側面から小さな火が発生、駅員が消火。 <p>日時：平成 25 年 4 月 8 日 20 時 51 分頃 場所：函館線八雲駅構内 負傷者：なし</p>
H25. 4. 9	<p>■原因究明と再発防止を口頭により要請</p>
H25. 5. 5	<p>○特急列車の床下から出火（旭川行き S カムイ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車軸軸受け付近の出火を認め、運転士が消火。 <p>日時：平成 25 年 5 月 5 日 7 時 29 分頃（乗客からの申告） 場所：函館線奈井江～茶志内間 負傷者：なし</p>
H25. 5. 8	<p>■原因究明と再発防止を口頭により要請</p>
H25. 5. 10	<p>■原因究明と再発防止を面談により要請</p>
H25. 6. 24	<p>■J R 北海道新社長就任挨拶時に知事より安全対策について要請</p>
H25. 7. 1	<p>■北海道運輸局鉄道部長に J R 北海道への指導の徹底を要請</p>
H25. 7. 6	<p>○特急列車の床下から出火（函館行き北斗）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン稼働を示す表示灯が消える異常が発生、運転士が緊急停止し点検したところ、4 号車エンジン付近から出火を確認、消火。 <p>日時：平成 25 年 7 月 6 日 15 時 45 分頃（運転士が異常検知） 場所：函館線山崎～鷲ノ巣間（八雲町） 負傷者：なし</p>
<p>運輸安全委員会 が重大インシデ ントとして調査</p>	
H25. 7. 8	<p>■原因究明と安全対策の徹底を面談により要請</p>
H25. 7. 15	<p>○特急列車の配電盤から出火（釧路行き S おおぞら）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 号車デッキの配電盤付近で車掌が焦げ臭さを感じ、状況確認中に火花が出たため運転士が消火したが出火し、消火しきれないと判断、乗客を避難させた。（出火はのちに自然鎮火） <p>日時：平成 25 年 7 月 15 日 9 時 15 分頃（車掌が異臭感知） 場所：千歳線上野幌～北広島間（北広島市） 負傷者：なし</p>
H25. 7. 19	<p>■原因究明と安全対策の徹底を面談により要請</p>
H25. 7. 22	<p>○特急列車のエンジンから油漏れ（帯広行き S とかち）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走行中エンジン異常の表示があり、運転士が緊急停止し点検したところ、3 号車のエンジン付近から潤滑油の漏出と白煙を確認。（出火はなし） <p>日時：平成 25 年 7 月 22 日 10 時 20 分頃（計器が異常検知） 場所：根室線十勝清水～羽帯間（清水町） 負傷者：なし</p>
H25. 7. 23	<p>■原因究明と再発防止を口頭により要請</p>
H25. 8. 17	<p>○J R 貨物の貨物列車脱線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川氾濫による線路道床が流出し、走行中貨物列車が脱線 ・運輸安全委員会が事故として調査
H25. 8. 17	<p>■原因究明と再発防止を口頭により要請</p>

年月日	トラブルの概要・JR北海道への道の対応
H25. 9. 19 函館線(七飯町) 大沼駅構内	○JR貨物の貨物列車脱線 ・貨物列車が大沼駅を発車後、運転手が後部から引っ張られるような感じを受け、ブレーキを使用して停止。確認したところ、全18両のうち先頭から6両目～9両目が脱線。 ・運輸安全委員会が事故として調査
H25. 9. 19	■原因究明と再発防止を口頭により要請
H25. 9. 21	○9月19日の貨物列車脱線事故調査の結果、レール幅の広がりが増え、基準値を超えていたことが判明したことから、国土交通省が特別保安監査を実施。(21～28日)
H25. 9. 24 H25. 10. 1 H25. 10. 9 H25. 10. 28 H25. 10. 30	■安全対策の徹底を面談により要請 ■JR北海道社長と知事が面談し、安全対策の徹底を申し入れ ■知事より国土交通大臣に対し、JR北海道への安全指導の徹底を要請 ■第1回JR北海道関連対策会議(庁内会議) ■第1回JR北海道の輸送対策検討会合(庁外関係機関との会合)
H25. 11. 1	○JR北海道がダイヤ改正し、特急列車の減速・減便を実施。
H25. 11. 12	○一部の現場部署で、9月の特別保安監査の直前に、レール幅の広がりについて、基準値を超過していた検査データを、基準値内に収めるよう改ざんしていたことが判明。
H25. 11. 12 H25. 11. 25	■改めて鉄道施設の安全性の確認を行うよう面談により要請 ■文書により「鉄道輸送の安全対策の徹底」を要請
H25. 12. 12	■第2回JR北海道関連対策会議
H25. 12. 12	○9月19日に大沼駅構内で発生した貨物列車脱線事故の際に、JR北海道が運輸安全委員会に対し、規定値を超えて放置していた軌道間の直近測定値を25mmと報告していたが、実際には測定値が39mmだったものを25mmへとデータを改ざんしていたことが判明。
H25. 12. 13	■新たに判明したデータ改ざんについての事実解明の徹底を面談により要請 ■次回ダイヤ改正に向け要望
H25. 12. 19	■第2回JR北海道の輸送対策検討会合